



とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1864



橘堰 (香取市) 鯉のぼり (提供: 宮内 宗一 会員)

第1864回 例会 平成22年6月1日

点 鐘 … 狩野 勉 会長
国 歌 … 君 が 代
ロータリーソング … 奉 仕 の 理 想
来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 狩野 勉 会長
御 祝 披 露 … 狩野 勉 会長
誕 生 祝 … 佐藤 學而 会員(5月29日)
網中喜一郎 会員(5月31日)
結婚記念日 … 大木 忠 会員(5月20日)
山本 幸男 会員(5月30日)
入会記念日 … なし

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会
卓 話

「覚醒剤の撲滅を目指して」

銚子警察署 刑事課 暴力団関係班長

大木 明 氏

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム(平成22年6月8日)

卓 話

「未定」

千葉科学大学 学長 赤木 靖春 氏

幹 事 報 告 … 吉田 孝至 幹事

お食事処「銚子プラザホテル」



ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009~2010年度 RI 会長 ジョン・ケニー (John Kenny)



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

第 1863 回例会(平成 22 年 5 月 25 日)

会長挨拶

狩野 勉

本日は 38 回目の創立記念例会です。1973 年(昭和 48 年) 4 月 15 日のチャーターナイトは 48 名の会員で挙行されました。その時からの会員は、網中喜一郎会員、片海宣光会員、佐藤学而会員、美呂津太兵衛会員そして大内恭平会員の 5 名です。5 名の皆様方の満年齢の平均は当時 48 歳でした。

38 年目の現在の理事役員の平均満年齢は 58.5 歳と 10 歳も高齢化しています。“長寿社会”の我が国ですから、そのこと自体は大いに祝福されることです。

人類は誕生以来、様々な経験に基づき豊富な知恵を財産にしてきました。長寿の地域として知られるコーカサス地方の人々は“長命”ではなく“長寿”社会を形成するための“食生活の知恵”を貯えているそうです。ともすれば、古い時代の知恵は詳しく調べることをしないで、科学的根拠に乏しいということで、ないがしろにされがちです。しかし、近年、世界各地における“古くからの食生活の知恵”の科学的な検討がなされ、その有効性も見出されています。例えば「カスピ海ヨーグルト」の生みの親である家森幸男京都大学名誉教授は 1986 年にスタートした「WHO・循環器疾患と栄養国際共同研究」において、研究調査地域としてコーカサス・グルジアを選び、高品質な小麦、多種類の野菜・果物、盛んな酪農によりバター・チーズ・ヨーグルトなどを生産することで豊かな食文化を形成していることが長寿の要因の一つである可能性を指摘しています。そして、長寿の栄養源が大豆の成分であるタンパク質やイソフラボン等であることを明らかにしました。

我が国は“長命社会”ではなく、世界をリードする、より一層成熟した“長寿社会”になっていきたいところです。

ロータリー活動においても、先輩の皆様方の心意気を引き継ぎながら 40 代の新会員も確保し継続可能な未来志向のクラブを形成することも喫緊の課題と考えています。今年度は残念ながら新会員の入会が実現できませんでした。次年度以降には新会員が確保できるよう私も努力して行きたいと思っております。

ところで、5 月 20 日には第 7 分区の新旧ガバナー補佐、分区幹事、会長・幹事会が飯岡の海響で開催されました。

今年度の報告・議事、次年度の役員紹介等の後、懇親会で友好を深めました。いよいよ織田ガバナー一年度に向けて、本格的にスタートしました。

本日は創立を記念し大いに語り合い楽しみましょう。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
09-10 年度会員退会状況報告 受領
- 2・ガバナーエレクト事務所より
クラブフォーラムへの研修リーダー派遣について 受領
- 3・例会変更のお知らせ
八日市場 RC より
6/22(火) 点鐘 18:30「黄鶴」
最終例会(家族会)の為
6/29(火) 定款により休会 受領
☆週報受領 銚子 RC

卓話

「葉 価」 網中 吉郎 会員

今日は 38 回目の創立記念例会です。ロータリー歴 10 年に満たない私にも、創立に関わる思い出があります。というのも、昭和 48 年 4 月 1



5 日に銚子市青少年文化会館で行われたチャーターナイト(認証状伝達式)に会員家族として応援に出たことで。私は市立体育館での懇親会のお手伝いをしたように記憶しております。今更ながら創立に関わる行事に参加をさせて頂いたことに感謝しています。

さて、ロータリーの奉仕の原点である職業奉仕について、その指針として職業宣言が掲げられています。そこには「職業は奉仕の一つの機会であること」また、「職業の品位を保ち、最高度の倫理的規準の推進に全力を尽くすこと」とあります。昨年この記念例会では、山本嘉一郎会員より職業奉仕の考え方について大変理解しやすい解説と、その実践例であるご自身の体験された素晴らしいお話を頂きました。山本先輩に倣い、未熟な私も今日はこの職業奉仕に関する話をしたいと思います。最近読んだ本にあった話です。

時は江戸時代の後期、徳川幕府の奥医師であった多紀安長という人と幕府の儒学者であった林述斎という人との話です。多紀家は代々幕府の奥医師を務めていた家柄で、安長は寛政 2 年から幕府に出仕していました。また、林述斎は美濃国岩村藩主の子息で、林羅山以来の林家が

7代で途絶えた後、幕命により養子となって林家を継ぎ、寛政の改革では林家の私塾であった昌平坂学問所（昌平こう）の幕府直轄化を推進するなど幕府の文教行政の中核として幕政に関与した人物です。

あるとき、林述斎が、持っていた色々な薬の見本を安長に見せて薬効をたずねました。安長は、それぞれの薬効を答えました。すると、林述斎はその薬草が本物かどうかを訊いてきました。これにも安長は、ていねいに本物と偽物とによく分類をしてあげました。

安長がこれで終わるかと思っていると、林はさらに質問を重ねてきて、「この本物の薬草はいくらするのか」と訊いてきました。安長は「知りません」と答えました。林は、「どういうことでしょうか。仮にも医師であるあなたが薬の価格を知らないはずはないでしょう」と言うと、安長は「御不審に思われるのはもっともだと思います。いまその理由をお話ししましょう」と言って次のように話しました。

「患者に与える薬の種類や、その調合の方法、量は知っていても、薬価は絶対に知ってはならない、という教えが当家に代々家法として伝わっているのです。このことは私が子供のころ時から父にいやというほど教え込まれました。今でも私の子供にもこれを守らせています。そういう訳で、いまお尋ねの薬草についての値は本当には知らないのです。」

林がまだ納得できないような顔をしているのを見て、こう続けました。「土農工商の身分、富める者、貧しき者の別なく、病人のために薬を処方する時は量を惜しんではなりませんし、必要とあればどんな高価な薬でも使わなければなりません。もし薬の価格を知っていると、治療が思うようにできなくなります。つまり、薬の値を考えてしまいますから、どうしても調合する時に、例えば貧しい人には量を加減するというような、医者としては絶対にしてはならないことを、やりかねないような心の迷いが出るからです。医者といえども人間ですから、欲を完全に消し去ることはできません。私は特に性格が弱いので、父の教えを堅く守っているのです」と説明しました。

そして、今度は安長が林に訊きました。「先生はお読みになる本の価格をすべてご存じですか」と。すると学者は「とんでもない。本は書かれている内容が大事なので、価格は問題ではありません」と言いました。それを聞いた安長はにっこりと笑って「それと同じことです。」と言いました。

これを聞いて、林述斎は大変感動しました。「よく医は仁術ではなく算術だといわれている。そこへいくと、この多紀安長というお人は何と立派な医者であることか。また、それを家法として代々伝えてきた医師としての心構えは、なんと見事なものだろうか」と感じた林は、会う人ごとにこの話をしたそうです。

創立記念例会

平成22年5月25日（火） 銚子プラザホテル



乾杯
網中。パスト会長



